

研究課題名	脊髄髄内腫瘍の治療成績と予後改善因子の解明
倫理委員会承認番号	221
当院の研究責任者（所属）	大隣 辰哉（脊椎脊髄外科）
他の研究機関および各施設の 研究責任者	遠藤 俊毅（東北大学病院 脳神経外科）
本研究の目的	脊髄髄内腫瘍は稀少疾患であり、治療方法も確立しておらず予後は比較的不良である。そこで、全国多施設の症例を集約し、本疾患の予後改善因子の解明を目的とする。
調査データの該当期間	2009年4月～2020年3月
研究の方法（対象者）	上記期間中に、当院で脊髄腫瘍摘出術を受け、脊髄髄内腫瘍と診断された患者。
研究の方法（使用する情報）	年齢・性別・画像所見・手術内容・退院時/退院後転帰など
試料/情報の他機関への提供	個人情報を削除した調査項目（エクセルファイル）を、研究事務局に mail で送付する。
個人情報の取り扱い	データの解析および研究成果の発表・公表においては、個人を特定できる形としない。
本研究の資金源（利益相反）	なし
備考	